

**Q** 高齢者活動支援事業でシルバーの雇用方法について、今現在、雇用は請負が多いと思われるが、労働者派遣法の改正もあり、派遣を推進するような動きがあるが、現状はどうか。

**A** 五霞町のシルバー人材センターにおいては、9割近くが請負の契約を結んでいます。国や県のシルバー人材センターにおいては、広い確実な雇用を図るために、高齢者においても派遣を推進するようということが提言されており、町としても派遣を推進する体制整備を図っています。



**Q** 道の駅ごかへの修繕費について、指定管理者に委託している場合、指定管理者側が支払うべきものと認識しているがどうか。

**A** 平成17年以降、指定管理で委託していますが、取り決めの中で建物本体や敷地に係る部分、またそれらの付帯設備の修繕については町が行うとしており、日常使う上での維持管理や消耗品の交換、ごく簡単な維持管理などは、道の駅側で行うことになっています。

**Q** 産業廃棄物処分業務委託料ということで100万円計上されているが、どのような用途に使うのか。

**A** 中央公民館の東側に仮置きしているU字溝・アスファルトがらなどの建設廃材等の処分を業者に委託したいと考えています。

**Q** 九十九里町での五霞っ子体験交流教室などの活動で、校外学習引率者の補助金というのは、どのような方が対象になっているのか。

**A** 町で採用している教育活動指導員等が校外学習等に補助として、付き添う時の負担分として町が支出をしています。



**Q** 国民健康保険は、平成30年度から都道府県が財政責任主体となり、今後も保険税の負担が増えていくと予想されているが、その見込みは。

**A** 平成30年以降の国保財政運営の取り扱いについては、現在検討しているところです。国



保税は市町村によって非常に開きがあることから、将来的には統一する方向性はありますが、スタート時点では、まず市町村ごとに保険税率を定めることとなります。

**Q** 地域支援事業の中の65歳以上のすべての方を対象とした予防について、講座や体操教室というのは、実際にどのようなものを実施する予定か。

**A** 現在すでに実施しているシルバーリハビリ体操や、リハビリを兼ねたもので、理学療法士を招いて、介護予防教室を実施する予定です。

**Q** 水道事業の資本的支出で水源開発費683万6千円を計上しているが、この2年くらい、補正予算で200数十万円に減額しています。今年度も含めて700万円弱の予算を計上している理由は。

**A** この予算は、思川開発事業にかかわる水源地域対策特別措置法に基づくダム周辺整備に係る事業の、平成29年度事業計画による五霞町負担額で、その年度に執行できなかった予算については、年度末等に減額をしています。